

【Check - 評価】

(1) 前年度評価シートの改善内容の実施状況

平成19年度の改善予定	平成19年度の改善結果
<p>・登校時は、午前7時45分から8時45分までの1時間、各小学校の正門等に監視員1名を配置して監視を行っているが、登校時のみではなく、学校生活での児童の安全を確保するため、監視時間を午後3時45分までの8時間に延長し、監視体制の充実を図る。</p> <p>・下校時は、前年度と同様に、午後1時45分から午後3時45分までの2時間、町内の通学路を車両(青パト)2台により巡視する。</p>	<p>・監視時間の延長のための予算要求を行ったが、改善には至らなかった。</p> <p>・登校時と下校時の監視については、従来どおり実施した。</p>

(2) 事務事業の評価

評価の視点	評価のポイント	評価	理由
妥当性	<p>事務事業を実施する必要があるのか</p> <p>町が主体となって実施する必要があるのか</p>	<p>■ 妥当である</p> <p>□ どちらかと言えば妥当である</p> <p>□ あまり妥当ではない</p>	<p>登下校中の児童を犯罪から守るために必要である。</p>
有効性	<p>対象者の満足度や事業の達成度はどうか(成果指標の状況)</p>	<p>■ 十分成果が上がっている</p> <p>□ 成果は十分とはいえない</p> <p>□ 成果は上がっていない</p>	<p>犯罪行為の抑止効果が現れている。</p>
効率性	<p>事業費に無駄はないか</p>	<p>■ 適切である</p> <p>□ 適切だが改善の余地がある</p> <p>□ 効率的でない</p>	<p>入札により適正な価格で効率的に行っている。</p>

【Action - 改善】

(1) 事務事業を進めていく上での課題、解決に向けての改善内容

	課題	平成20年度	平成21年度以降
妥当性			
有効性	児童が被害者となる事件が全国的にも多発していることから、巡視体制の強化が必要。	通学路での巡視時間を30分延長する。	登校時のみでなく、学校内に監視員の配置及び通学路での巡視時間の延長について検討する。
効率性	財政状況が厳しいなかで、予算の確保が難しい。	通学路での巡視時間を少なくとも30分延長するための予算確保をする。	校内での巡視時間をさらに延長するための予算確保に努める。

(2) 事業の今後の方針(課長による評価)

活動指標の目標	<input type="checkbox"/> 高める <input checked="" type="checkbox"/> 設定どおり <input type="checkbox"/> 下げる
理由	児童の安全を守るため、目標どおり進めていく考えです。
成果指標の目標	<input type="checkbox"/> 高める <input checked="" type="checkbox"/> 設定どおり <input type="checkbox"/> 下げる
理由	児童の安全を守るため、目標どおり進めていく考えです。
事務事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・廃止・終了 <input type="checkbox"/> 統合
理由・内容	児童の安全を守るため、引き続き、校内での巡視時間の延長と、新たに下校時における通学路の巡視時間を延長し、事業の充実を図っていく。

部長確認	金子 登喜男	確認日	2008/10/15
------	--------	-----	------------